

令和 6 年度

事業者番号

0612

事業所番号

035104

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県立小児医療センター		
事業所所在地	市区町村	さいたま市中央区	
	字・地番	新都心1番地2	
産業分類名（中分類）	83 医療業		
分類番号（中分類）	83		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 小児治療専門医療機関 病床数 316床	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対して、平均削減率を令和2～5年度は8%以上、令和6年度は15%以上とする。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	47,347	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	4,913	t-CO ₂	事業所区分	第1区分ー(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	4,227	4,245	4,167	4,006	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		8,056	8,078	7,886	7,612	
	前 年 度 比（％）	—	0.3	-2.4	-3.5	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六 ふ つ 化 い お う					
	三 ふ つ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		8,056	8,078	7,886	7,612	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位		0.1231	0.1234	0.1205	0.1163	
	前 年 度 比（％）	—	0.3	-2.4	-3.5	
活 動 規 模 の 指 標	単 位	65,447.69	65,447.69	65,447.69	65,447.69	
床面積	m2	65,447.69	65,447.69	65,447.69	65,447.69	

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症対策のため、外気の導入量を増加させています。そのため、冬期の暖房負荷と加湿負荷が増加し、CO2排出量が前年度より増加しました。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症対策のため、外気の導入量を増加させる運用を継続しています。 また、R3年度は夏期の外気環境はR2年度と比べると比較的穏やかな状況であったため、建物としてのエネルギー量は減少していましたが、一方で冬期については、外気環境がR2年度より厳しかったため暖房負荷・加湿負荷が増加しています。結果、CO2排出量がR2年度より微増しました。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症対策のため、外気の導入量を増加させる運用を継続しています。 R4年度は冬期の外気環境はR3年度と比べると比較的穏やかな状況であったため、暖房負荷が減少したことで、冬期のエネルギー使用量が減少しました。 また、照明のLED化や通路等の間引き消灯により照明電力量が減少したことに加え、エコチューニングにより熱源設備、空調設備の運用最適化の効果もあり、CO2排出量がR3年度より減少しました。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症対策として実施していた外気導入量の増加対策を通常運用に変更したことで外調機が消費するエネルギーが減少しました。 また、R5年度は冬期の外気環境がR4年度と比べると比較的穏やかな状況であったため、暖房負荷が減少したことで、冬期のエネルギー使用量が減少しました。 さらに、照明のLED化や通路等の間引き消灯の継続、熱源設備・空調設備の運用最適化の効果もあり、CO2排出量がR4年度より減少しました。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	10,452	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分-（1）
----------	----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	10,452	10,452	10,452	10,452	10,452	52,260
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	15.00%	
	排出上限量 ($C = \Sigma A - D$)						47,347
	排出削減目標量 ($D = \Sigma (A \times B)$)						4,913
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	8,056	8,078	7,886	7,612		31,632
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	22.92%	22.71%	24.55%	27.17%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	2,396	2,374	2,566	2,840		10,176
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	未実施		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	管理設備台帳の整備	R1以前	R1以前	
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	エネルギーフロー図の作成	R1以前	R1以前	
3	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	センター内の空調温度及び湿度設定値の管理	R1以前	R1以前	
4	120500	熱源設備・熱搬送設備	12_熱搬送設備の運転管理	駐車場排気ファン夜間間欠運転の導入	R1以前	R1以前	2.0
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	電気室PAC/給排気ファン連携制御の導入	R1以前	R1以前	5.0
6	130300	空気調和設備・換気設備	13_換気設備の運転管理	冷水及び温水2次ポンプの末端差圧設定の適正化	R2	R2	8.7
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯の間引き	R3	R3	2.0
8	130300	空気調和設備・換気設備	13_換気設備の運転管理	空調機・送排風機への省エネベルトの採用	R3	R3	20.0
9	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	共用部空調機への不感帯導入	R4	R4	7.7
10	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	一般空調機への不感帯導入	R4	R4	21.4
11	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	空調スケジュール設定値制御の導入	R4	R4	28.4
12	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯のLED化（予定：400本）	R4	R4	8.2
13	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	通路等の間引き消灯（DL100灯取外し）	R4	R4	1.4
14	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	厨房外調機の換気モードの導入	R5	R5	10.1
15	120600	熱源設備・熱搬送設備	12_廃熱回収の管理	換気ファン運転時間の変更	R5	R5	13.3

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

